

第2038回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和8年9月24日（木） 午前10時開会
午前10時49分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 石川教育長、櫻井教育長職務代理者、今井委員、神山委員、小野委員、鈴木委員、佐藤副教育長、案浦参事、小谷野教育総務部長、田中県立学校部長、岡島市町村支援部長、平野教育総務部副部長、廣川総務課長（書記長）、阿部市町村支援部参事兼小中学校人事課長、塩原県立学校人事課主任管理主事
高久書記、宮書記、荻野書記、齊藤書記、北澤書記
- 4 会議の主宰者 石川教育長
- 5 会 議
 - (1) 前回議事録の承認
 - 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 石川教育長が、鈴木委員を議事録の署名者に指名した。
 - 会議を公開しないこととする事項について
石川教育長が、第84号議案及び第85号議案の審議について、会議を公開しないこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
 - 日程の変更について
石川教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

埼玉県災害時学校支援チーム（D－E S T埼玉）について

廣川総務課長（提出理由、国（文部科学省）の動き、埼玉県災害時学校支援チーム（D－E S T埼玉・令和7年10月設置）の概要、「令和8年熊本地震」への埼玉県災害時学校支援チーム派遣について説明）

櫻井教育長職務代理者 最近、非常に災害が多発している中で、こういう支援チームをきちんとした組織として作ったということは非常に良い取組だと思います。特に発災直後は自衛隊をはじめとして、人を守るためにいろいろな機関が派遣されますけれども、一段落したところで、学校の復旧などについて、国として応援するということはとても大切なことだと思います。一つ質問ですが、「チーム」という名前が付いていますが、これは基準として、メンバーはどういう人を何人とするなど、規定で決められているのでしょうか。

廣川総務課長 国の方で「こういうチームでなければならない」というものは、特段決まってはおりません。本県では、資料の4ページにお示ししたとおり、5年間を掛けて、おおむね150人程度のチーム員数となるように、研修、養成を進めていきたいと考えております。

櫻井教育長職務代理者 ということは、派遣することが決まった都度、この中でチームを編成して、今回は何人ということで、状況に応じて派遣するという考えでよろしいでしょうか。

廣川総務課長 委員がおっしゃるとおり、発生の状況に応じて、要請をして体制を組んでいくということです。

鈴木委員 私もやはりこういう取組は大変素晴らしいと思っていて、いつ何時こういう災害があるか分かりませんから、それに備えておくというのは非常に重要だと思います。1点質問で、今回は初のチーム派遣ということですが、何か課題のようなものはあったのでしょうか。

廣川総務課長 今回、初めての派遣ということで、なかなかどのタイミングで派遣をしたらいいのか、また、どなたを派遣すべきかといったところの調整についても、手探りの中でまず始めたところでございます。ただ、幸い、先生の方からも、

支援に行ってもよいと手を挙げていただいたので、そのおかげをもって、円滑に派遣ができたかなと思っているところでございます。なかなか経験がなかったというところがございますので、今回派遣した経験を、今後、チーム員にも共有していくような形で広めて、いつ何時、派遣ということになるか分かりませんので、そういったときにスムーズに対応できるよう、チーム員、また事務局の対応も含めて考えていかなければならないと思っています。

鈴木委員　今回見つけた課題を次に生かしていただければと思います。

今井委員　お話をお聞きして、とても素晴らしい取組だと感じました。派遣というお話でしたが、いつ埼玉県が災害の発生場所になるかということもあるかと思います。これから令和9年度、10年度、11年度とチーム員を募集するに当たって、今回の派遣でどのような活躍をされたかであるとか、他県の情報であるとか、そういうものを、希望者だけではなく、全教職員の先生方に周知することによって、これに応募したいとか、協力したいというような人たちが増えると思いますので、是非、情報発信をしていただきたいと思います。先ほど、他の委員からもありましたが、いつ何時災害が起きるか分かりませんので、広く先生方に知っていただきたいと思います。

廣川総務課長　こういった取組を多くの教職員、また、局の職員等にも周知をして、是非、こういうことがあったときには率先して協力しますという方が多くなるように、情報の発信等、努めてまいりたいと考えております。

神山委員　養成研修の内容というのは、文部科学省が決めた国で統一された内容なのでしょうか。それとも県のオリジナルのものもあるのでしょうか。

廣川総務課長　研修の内容ですが、基本的には各県のオリジナルという状況になっております。本県においては、災害の基礎知識から、防災対策、基本的な支援の考え方、被災した学校における再開に向けた演習、また、心のケアとして公認心理師協会の方から御講演いただくなど、そういったことを盛り込みながら研修を行っております。

神山委員　今井委員がおっしゃったように、私たちも被災する可能性がある中で、この養成研修は、例えば子育て中など、実際に現場に行くことが難しい教職員の

方々にとっても、いざ埼玉県が被災したときに、自助活動というか、自分たちが被災した際にも役立つ内容ではないかと思います。実際に現地に行けるかどうかは別としても、養成研修については、是非広めていただけると良いと思いました。

廣川総務課長 おっしゃるとおりだと思います。より多くの先生方に関心を持っていただいて、研修を受けていただけるように働き掛けをしてまいりたいと思います。

小野委員 私もこの取組に非常に関心を持っております。一方で、今回は、たまたまと言ったら変ですが、夏季の休業期間中だったということが、一つ特別な事情としてあったかと思います。他の委員もおっしゃっていたことですが、まずは県の教育を滞りなく進めた上で何ができるかということもあるかと思います。今回は、タイミングとしてそういった事情もあったかと思いますので、そのあたりの役割分担といったことが、今後の課題になっていくのかなと、お聞きして思いました。

廣川総務課長 まずは埼玉県の学校現場の教育活動をしっかりやっていただかなければなりませんので、そういったところとの兼ね合いを、十分にバランスを考えながら進めていくことが重要だと考えております。今回、初めての派遣がたまたま夏休み期間中であつたということもあり、派遣する側としても、そういったところのハードルが少し低かったところもあります。この経験を生かしながら、今後、さらに円滑に運営できるようにしていきたいと思います。

(3) 次回委員会の開催予定について

10月15日（木）午前10時

<非公開会議結果>

議事

第84号議案 令和8年度教育功労者及び優良教育施設・団体表彰について 上程
埼玉県教育委員会表彰規程の規定に基づき、令和8年度教育功労者及び優良教育施

設・団体表彰の被表彰者を決定しました。

第 8 5 号議案 令和 8 年度優秀な教職員の表彰について

上程

埼玉県教育委員会表彰規程の規定に基づき、令和 8 年度優秀な教職員の表彰の被表彰者を決定しました。